



# 痙縮外来(ボツリヌス療法外来)のご案内

当院では、脳卒中などの後遺症である痙縮(手足のつっぱり)に対して、ボツリヌス療法を行っております。

## ●痙縮(けいしゅく)とは？

脳卒中でよくみられる運動(機能)障害の一つに痙縮(けいしゅく)という症状があります。痙縮とは筋肉が緊張しすぎて、手足を動かしにくかったり、勝手に動いてしまう状態のことです。



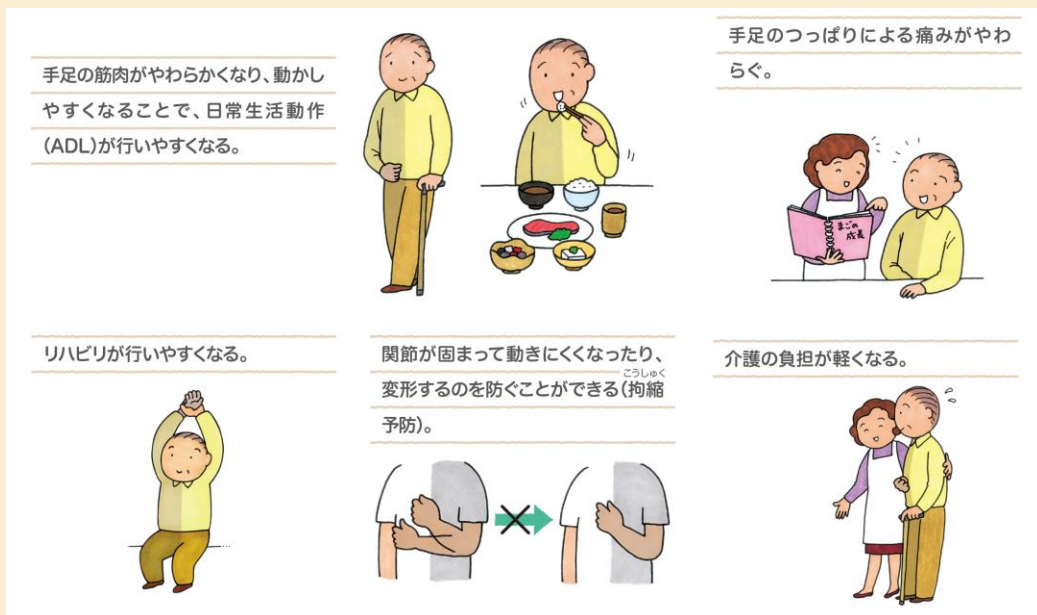
## ●ボツリヌス療法とは？

ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌(食中毒の原因菌)が作り出す天然のたんぱく質(ボツリヌストキシン)を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療法です。

ボツリヌストキシンには、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。そのためボツリヌストキシンを注射すると、筋肉の緊張をやわらげることができます。

## ●ボツリヌス療法の効果

ボツリヌス療法によって次のような効果が期待できます。

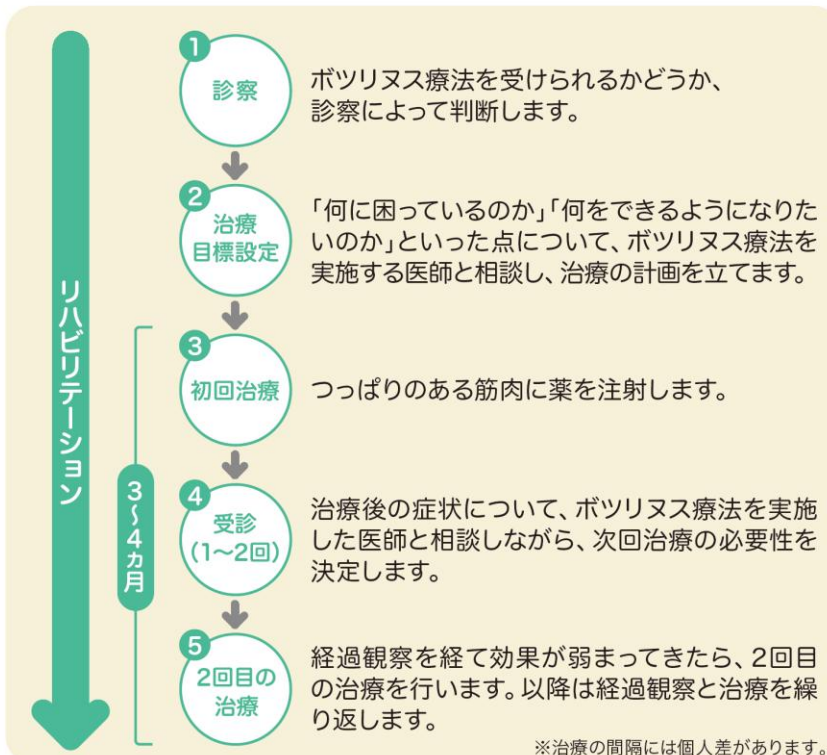


## ●ボツリヌス療法のすすめかた

ボツリヌス療法の効果は、注射後2～3日目から徐々にあらわれ、通常3～4ヵ月間持続します。効果は徐々に消えてしまうので、治療を続ける場合には、年に数回、注射を受けることになります。効果の持続期間には個人差があるので、医師と症状を相談しながら、治療計画を立てていきます。

また、ボツリヌス療法によって痙縮がやわらいでも、リハビリテーションを行わなければ機能の回復は望めません。当院ではリハビリテーションとボツリヌス療法を一緒に行うことによって、より高い治療効果を引き出せるようにいたします。必要な方には外来リハビリテーションをご案内させていただきます。

### ●治療のステップ(例)



## ●費用について

上下肢痙縮の治療は保険が適用されますが、注射薬そのものが非常に高価なため、身体障害者手帳(1～2級)をお持ちでない方は、医療費が高額になる場合があります。

詳しい医療費の負担や公的助成制度については、受付窓口にお問い合わせください。

## ●診療時間

毎週金曜日 午後2:00～5:00

## ●予約について

痙縮外来は**完全予約制**となりますので、お電話にてご予約ください。

予約電話番号:022-221-5566(代表)